

## 題材名「比例、反比例の利用」

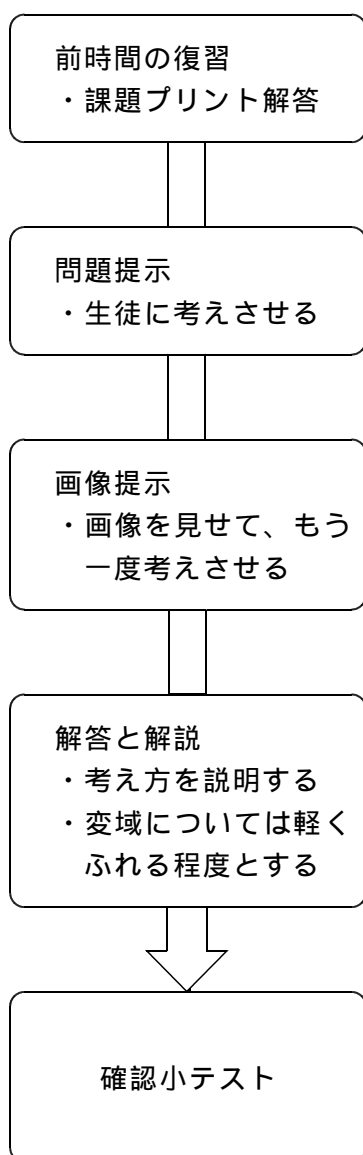
### 目標

- ・比例や反比例が実生活と深く関わっていることに気付き、身のまわりの問題解決に当たって、比例や反比例の見方や考え方を活用できるようにさせる。

### コンピュータを利用する利点

教科書では比例、反比例の導入の場面で、できるだけ具体的な事象を取り上げ、生徒が実験や作業を行って実際に確かめられるようになっている。しかし、図形の変化（時間の経過によって動きを伴う）に対しては、作図等を行っても理解が難しいと思われる。そこで、コンピュータを利用して、動きによる変化を視覚的にとらえさせ、関係式を見つけやすくできる。

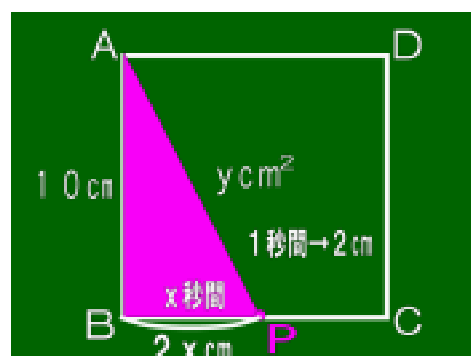
### 授業の流れ



### ICT活用場面

動点の問題は、点が動いて三角形の面積が変わっていく様子が想像しにくい生徒が多いので、コンピュータで視覚的にとらえさせ、理解を深めさせた。

1時間（50分）の授業の中で、コンピュータの使用時間はほんの5分程度ではあったが、口頭だけの説明ではなく、実際に動きによる面積の変化を自分の目で確認することができ、生徒達も理解しやすかったようである。



### 成果と課題

実際の動きを見ることで、どの生徒も受け入れやすく、理解が深まった。授業の終わりに実施した確認小テストの結果にも、その成果が現れていた。

本校の場合、各学年に移動式のモニタ（TV）があるが、サイズが小さく、教室の後方の生徒からは見にくかったようである。プロジェクターの使用も考えたが、設置等に時間がかかり効率的とはいえない。



### ICT活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、モニタ（TV）
使用ソフト名	Microsoft Power Point
使用教室	普通教室